


緊急報告

パレスチナ難民とUNRWAの現状 ～ウクライナ危機で揺れ動く世界の中で～

 日時:10月7日(金) 17:00- 18:00

 会場:東京大学駒場キャンパス18号館4階コラボレーションルーム4(東京都目黒区駒場3-8-1)とオンライン参加

 開催言語:英語

 スピーカー:国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA) ラザリーニ事務局長
Philippe Lazzarini - Commissioner-General of UNRWA
インタビュアー:東京大学中東地域研究センター 鈴木啓之



事前登録不要

1. パレスチナ難民とUNRWAの現状(ラザリーニ事務局長、UNRWA)
2. ラザリーニ事務局長と鈴木啓之によるトークセッション

1948年の第一次中東戦争により故郷を追われたパレスチナ難民。74年が経過した現在でも世代を超え約570万人のパレスチナ難民が隣国で生活しています。1949年に設立されたUNRWAは、日本を含む援助国からの任意の拠出金のもと、難民へ食料、保健や教育、社会福祉などの基礎的なサービスを提供しています。UNRWAフィリップ・ラザリーニ事務局長来日にあたり、パレスチナ難民と難民を取り巻く環境を中心に講演いたします。

ウェビナーURL (事前登録不要、直接こちらからアクセスしてください)

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/81634952663?pwd=Ym01UkpKQzVuendWNHRaUW5KQnB2dz09> 

Passcode:

ラザリーニ事務局長は2020年4月より現職UNRWA事務局長を務める。30年に及ぶ経験を有し、国連や国際赤十字委員会にて人道支援に従事。国連では特別副代表としてソマリアミッションを率いる。2003年に国連に入職して以来、イラク、アンゴラ、パレスチナ自治区、NYで勤務。1989年から1999年までは国際赤十字委員会にて、ジュネーブ、ルワンダ、アンゴラ、サラエボ、南部スーダン、ヨルダン、ガザ、ベイルートにて、コミュニケーション副部長や代表団長等数々の役職を務める。



主催:東京大学中東地域研究センター
共催:国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)